



レンタサイクルと自転車関連施策について



高松市 都市整備局 都市計画課
事業係長 佐々木 英之

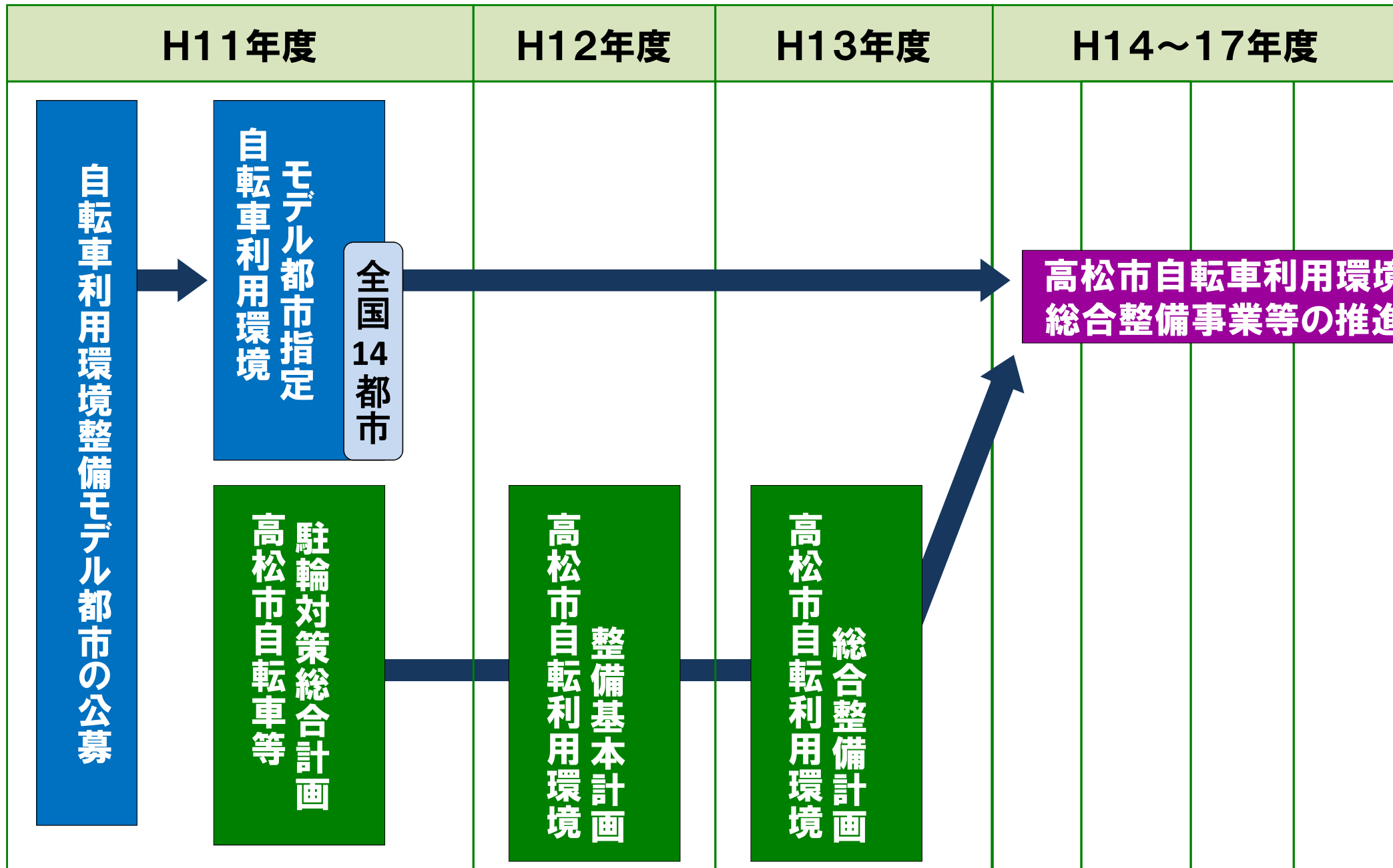


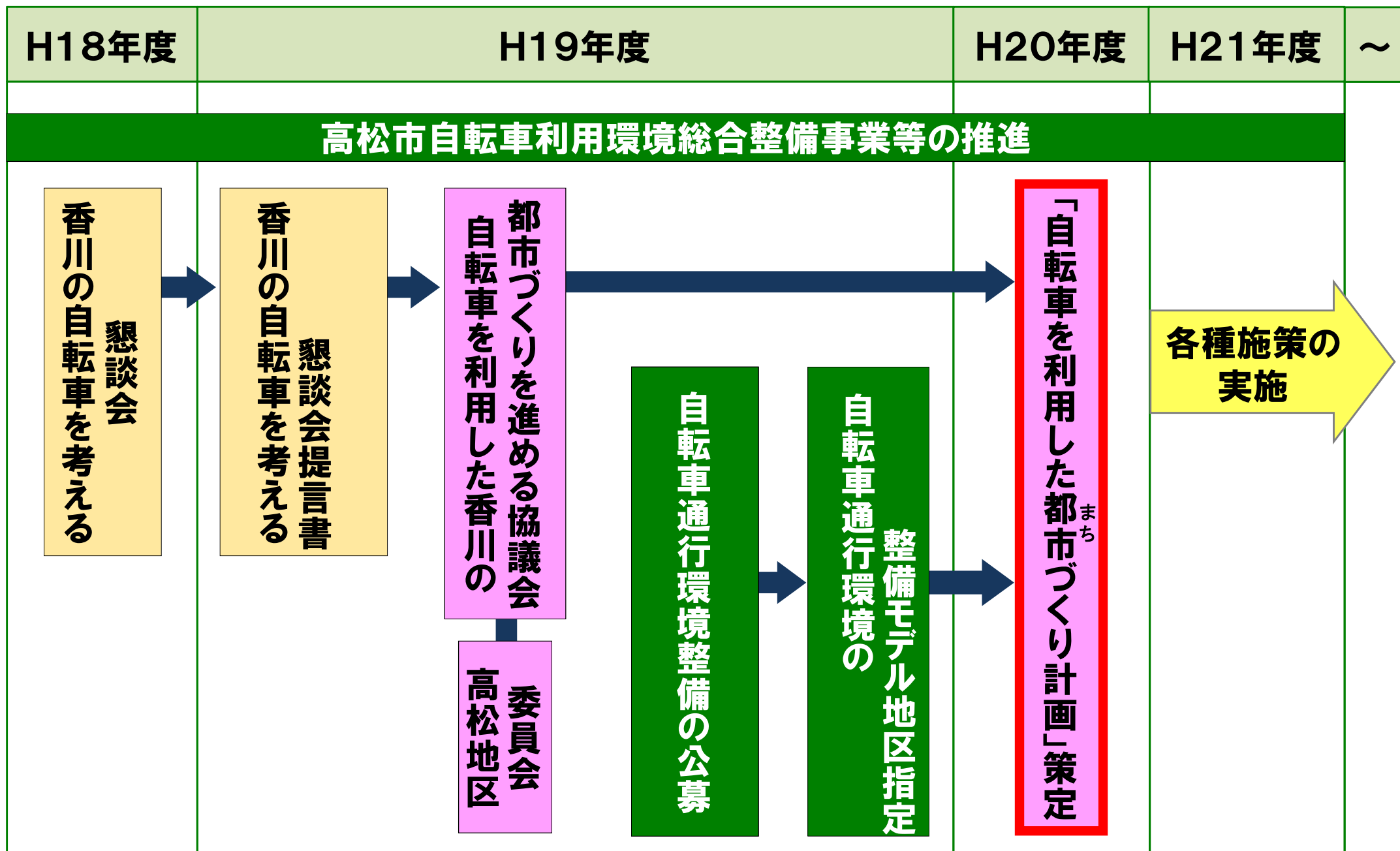
人口:42万人
面積:375km²

- **瀬戸内海に面し、温暖・少雨**
- **傾斜が緩い地形**

↓
自転車利用が多い









自転車利用の都市づくりの実現に向けた柱と基本施策、計画の体系

都市づくりの目標

人と自転車が笑顔で行き交うサイクル・エコシティ高松

都市づくりの方向性

- (1)人と環境にやさしい都市づくり
- (2)自転車と公共交通を軸とした都市づくり
- (3)楽しく、便利で健康の都市づくり

3
つ
の
柱

快適な自転車利用のための環境整備

自転車利用ルールの遵守・マナーの向上

自転車利用のさらなる促進



①導入の経緯

◆背景

- ・土地の地形や温暖少雨な気候などから、自転車の利用が盛ん
- ・駅周辺の放置自転車問題の深刻化
- ・利便性の高い端末移動手段の確保



◆社会実験(平成12年11月)

- ・レンタサイクルポート: 3箇所(JR高松駅、琴電瓦町駅、JR栗林駅)
- ・レンタサイクル台数: 120台
- ・受付時間: 7:00~20:00
- ・利用料金: 1日1回につき100円



◆本格導入(平成13年5月~)

- ・レンタサイクルポート: 2箇所(JR高松駅、琴電瓦町駅)
- ・レンタサイクル台数: 150台



(出入口ゲート)



②レンタサイクルの概要

◆ポートの整備

番号	ポート名	収容台数	整備年	備考
①	琴電瓦町駅地下	350	H13	有人(市営駐輪場併設)
②	JR高松駅地下	550	H13	
③	琴電栗林公園駅前	70	H16	
④	JR栗林駅前	80	H14	無人
⑤	市役所	50	H17	
⑥	琴電片原町	50	H20	
⑦	丸亀町	100	H24	
計		1,250		

◆時間及び料金

営業時間	7時～22時(年中無休)		
利用料金	一時利用	24時間以内	200円
		(ただし、6時間以内)	100円
		以後24時間ごとに	200円
	定期利用	1ヶ月	2,000円
		3ヶ月	5,500円



(高松駅地下ポート)



(片原町ポート)



② レンタサイクルの概要

◆ ポート位置図

- ・市内中心部の主要駅などに7ポートを設置
- ・どのポートでも返却OK

レンタサイクル 利用証

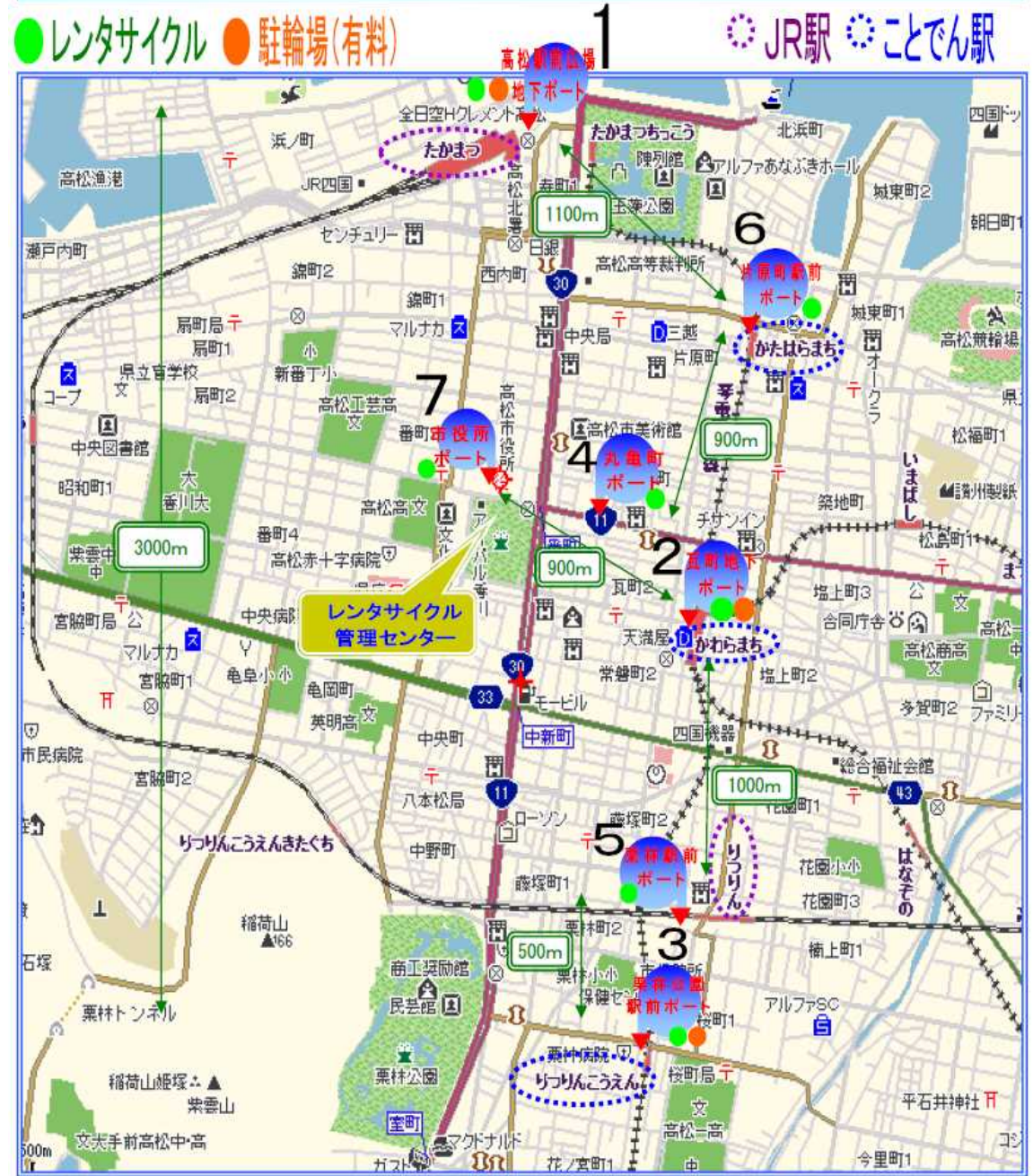
一時 定期

承認番号	利用者氏名
承認年月日	年 月 日

高松市

(レンタサイクル利用証)

高松市レンタサイクル7ポート 位置図





③高松市のレンタサイクルの特徴

◆放置自転車の再利用

放置自転車等禁止区域などで移送した自転車のうち、保管期間を過ぎても引き取りがない自転車

⇒レンタサイクル車両として整備



(放置自転車の再利用)

◆地域交通系ICカード(高松琴平電気鉄道:IruCaカード)との連携

IruCaカードをレンタサイクルの利用証として登録でき、利用料の支払いも可



(貸出・返却用精算機)



③高松市のレンタサイクルの特徴

◆ICタグと利用証による個体管理

ICタグを装着し、入口・出口に設置されたICタグリーダーで情報を管理し、利用証で利用者ごとの貸出・返却の状況を自動管理



(自転車用ICタグ)

◆市営駐輪場との入出場ゲート共用

有人の3ポートにおいて、レンタサイクルと市営駐輪場の入出場ゲートを共用させ、施設を有効活用



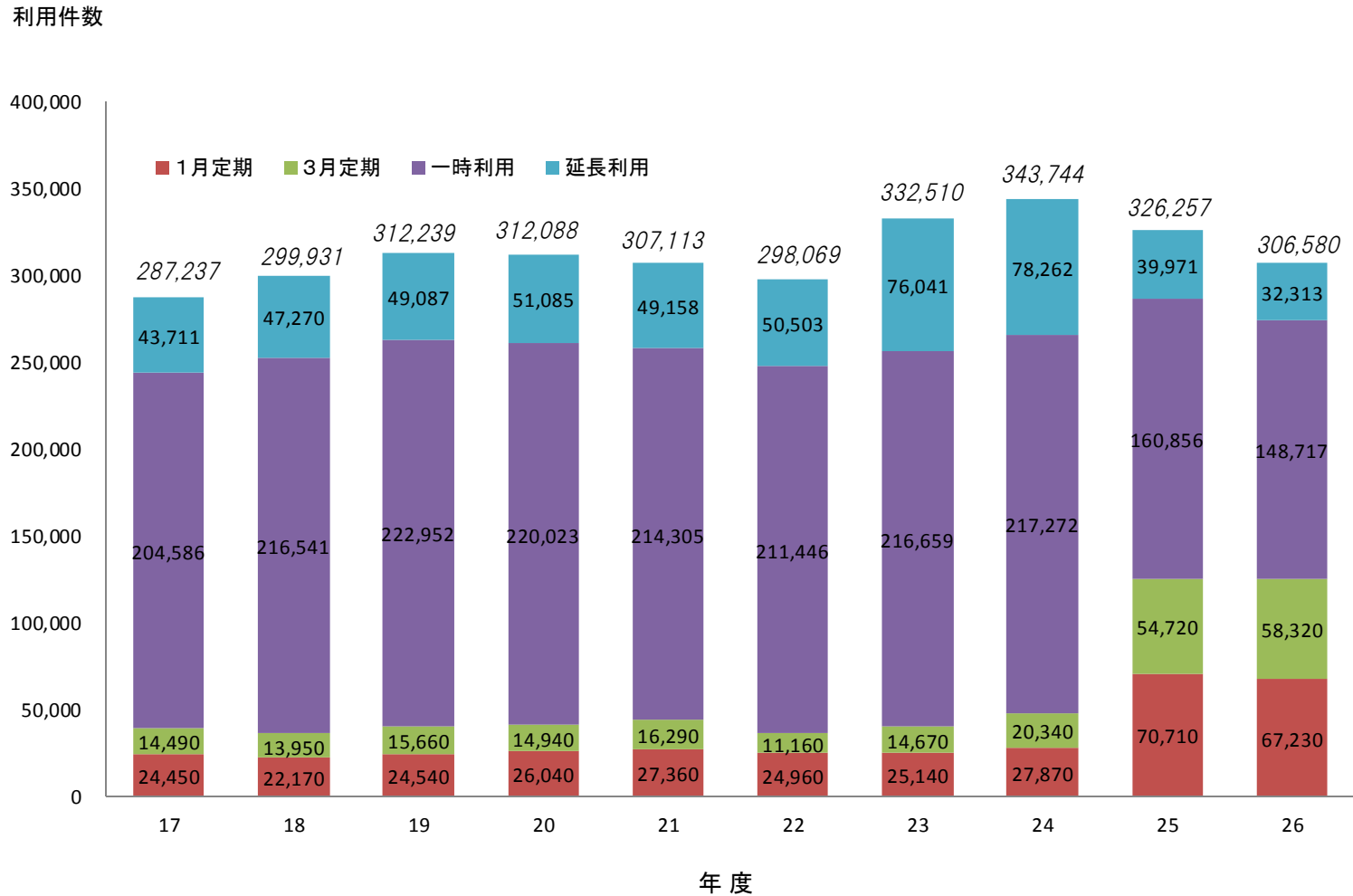
(共用ゲート)



④利用状況

◆過去10年間の利用状況

23年にフリーレンタシステムを導入したときは利用が増えたが、25年の料金改定で減少
⇒ 利用促進が課題





⑤新デザイン ～利用促進に向けて～

◆新デザインの公募

利用促進とイメージアップのため統一したデザインの導入

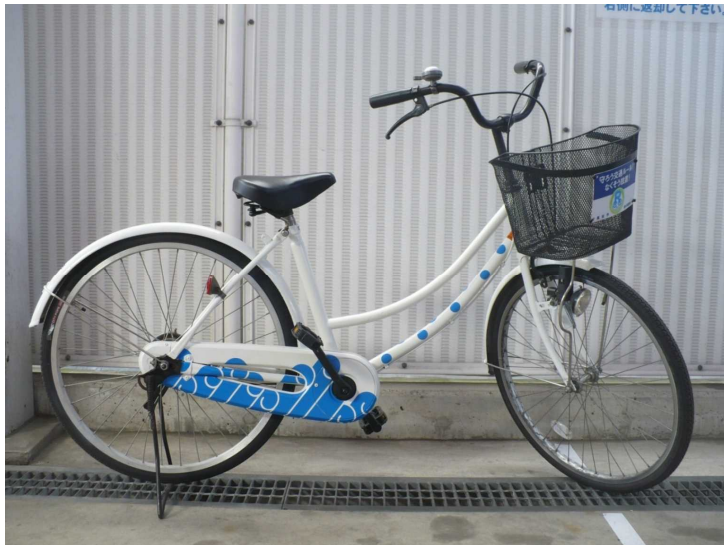
公募期間:平成26年11月～12月

応募数:110点

最優秀賞:デザイン系の専門学校生の作品

⇒ 瀬戸内海の波と水しぶきをイメージ

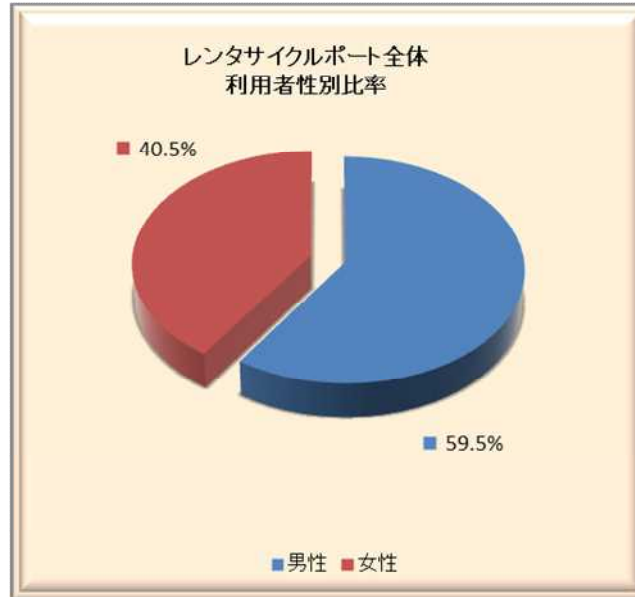
⇒ 既存のレンタサイクルに順次塗装（現在、約半数塗装済み）



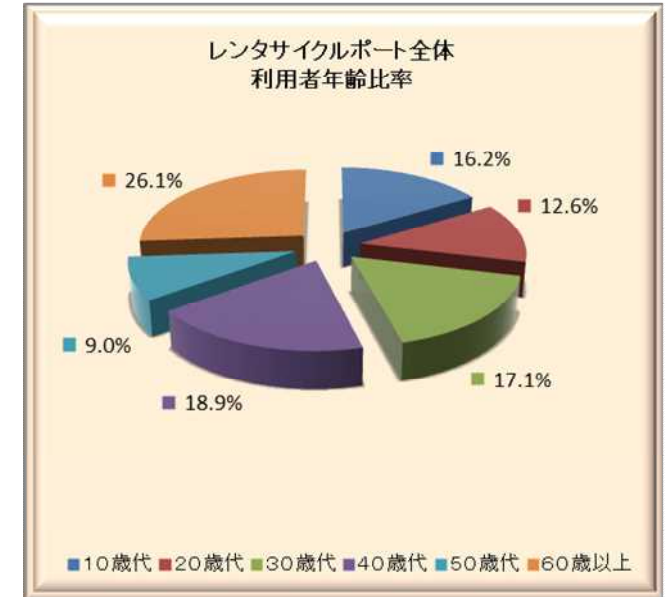


⑥アンケート結果(H26年度)

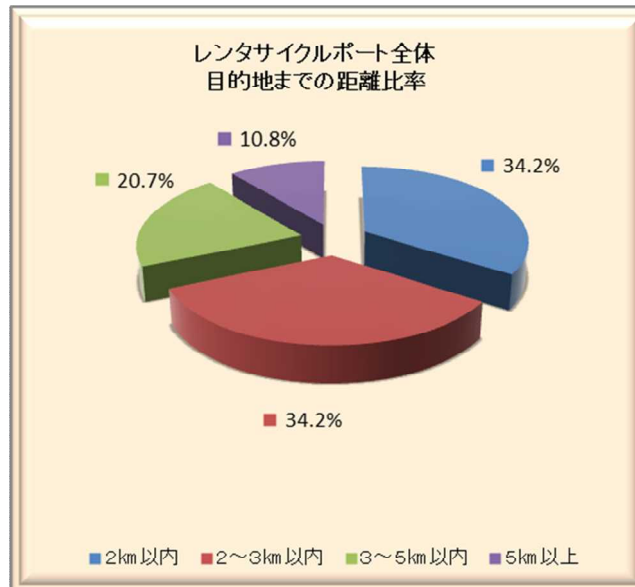
◆性別



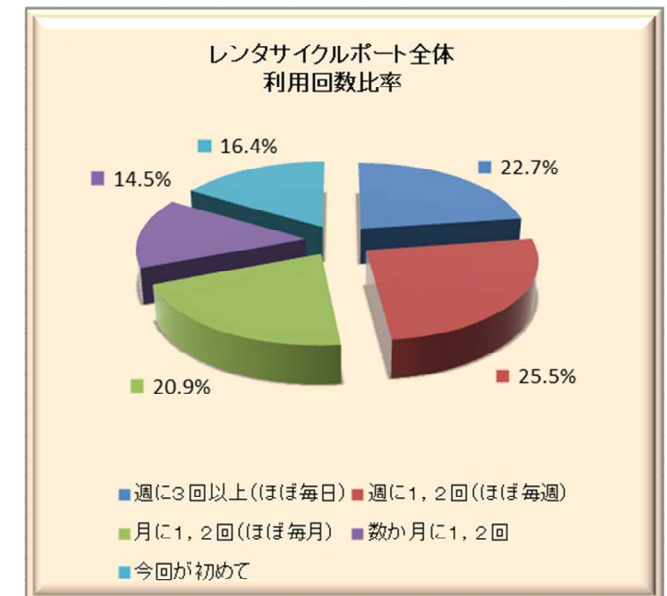
◆年齢



◆距離



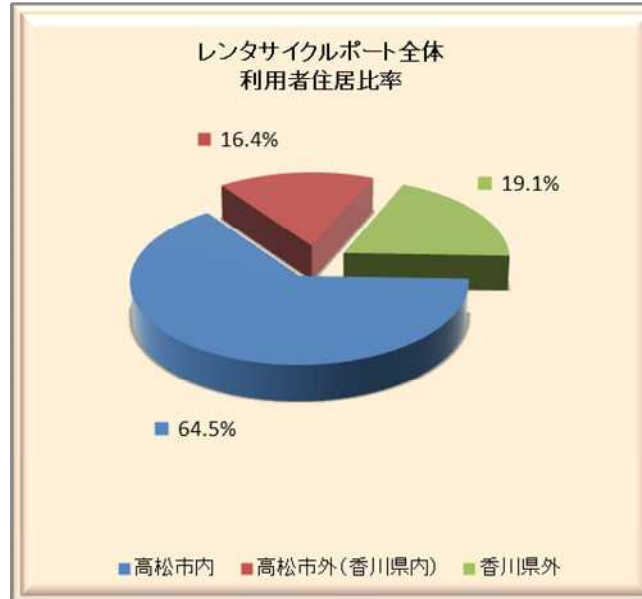
◆利用回数



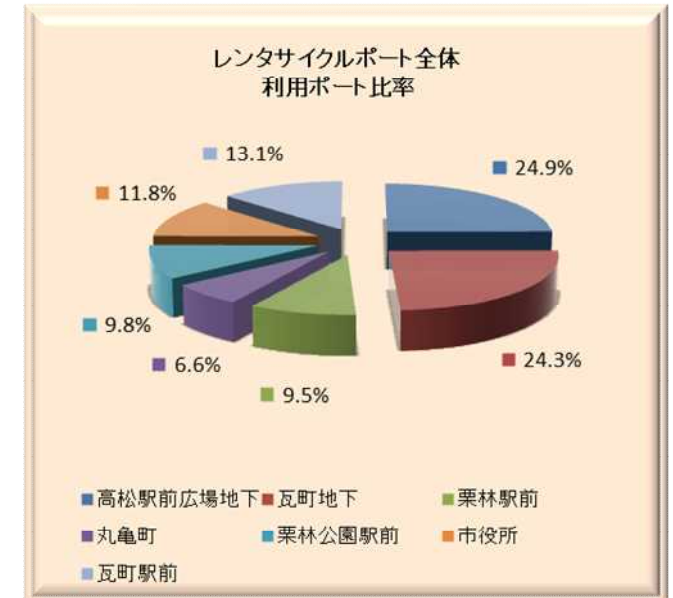


⑥アンケート結果(H26年度)

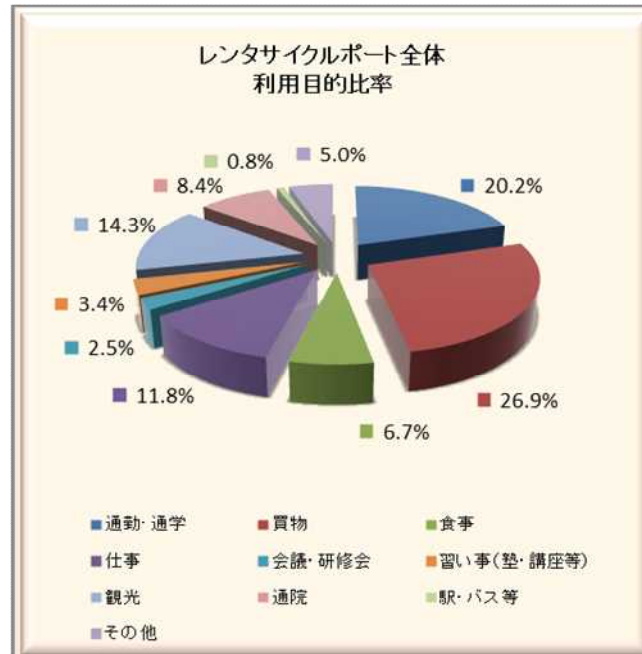
◆居住



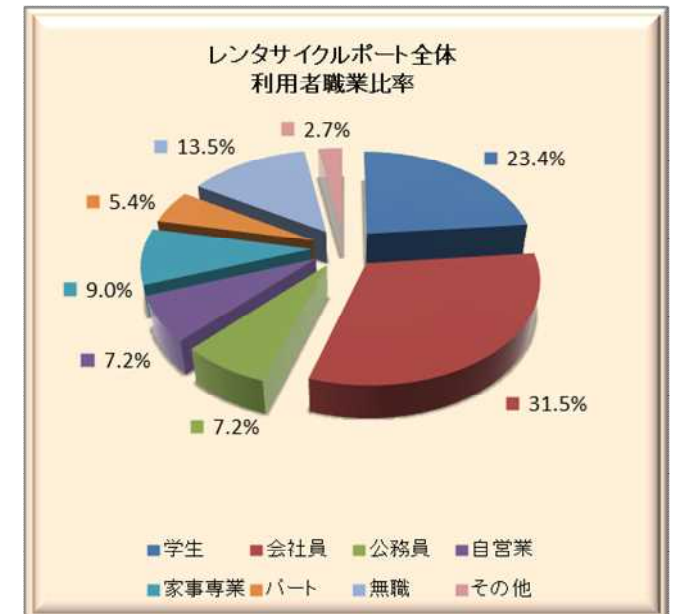
◆利用ポート



◆目的



◆職業





① 自転車ネットワーク整備方針

自転車道の整備(構造分離)
●市道五番町西宝線

自転車歩行者分離施設の整備(構造分離)
●国道11号・30号(中央通り)

凡例	
自転車道の整備	赤線
自転車レーンの整備	青線
外側部のカラー化	黄線
自転車歩行者道における 走行位置の明示	緑線
構造分離	水色線
視覚的分離	淡青線
検討対象路線(整備手法未定)	緑線
自転車の歩道通行可の整備	黄線
自転車の通行部分の指定	淡青線

至
屋島
→

- 1 国道30号 玉藻町～番町1丁目
- 2 国道11号 番町1丁目～中新町交差点、番町1丁目～詰田川西
- 3 県道高松普通寺線 中新町交差点～宮脇町1丁目
宮脇町1丁目～西宝町1丁目
- 4 県道中徳三谷高松線 中新町交差点～花園
- 5 市道五番町西宝線 西宝町1丁目～番町1丁目
- 6 市道片原町沖松島線 井口町～福岡町4丁目
- 7 国道11号 中新町交差点～栗林町1丁目
栗林町1丁目～室町
- 8 県道牟礼中新線 花園町～詰田川
- 9 県道高松停車場栗林公園線 天神前～番町1丁目
番町1丁目～錦町1丁目、天神前～栗林町1丁目
- 10 県道高松東港線 上福岡町～福岡町2丁目、福岡町2丁目～福岡町3丁目
- 11 市道浜ノ町宮脇線 錦町2丁目～宮脇町2丁目
- 12 市道兵庫町西通町線 兵庫町～錦町2丁目
- 13 市道高松海岸線 福岡町2丁目～西町
- 14 県道高松港栗林公園線 通町～桜町2丁目
栗林町1丁目～桜町2丁目
- 15 市道天神前瓦町線 栗林北～瓦町2丁目
- 16 市道 桜町2丁目～花ノ宮町2丁目
- 17 市道高松港線 瀬戸内町～扇町3丁目
- 18 市道西浜港宮脇線 昭和町1丁目～紫雲町
- 19 市道錦町宮脇線 扇町2丁目～番町5丁目
- 20 市道馬場町線 番町5丁目～丸の内
- 21 市道兵庫町丸ノ内線 丸の内
- 22 市道丸亀町栗林線 丸亀町
南新町～田町
藤塚町1丁目～栗林町1丁目
- 23 県道高松港線 丸ノ内
- 24 市道片原町古馬場線 片原町～瓦町1丁目
- 25 市道魚屋町栗林線 玉藻町～常磐町2丁目
- 26 市道朝日町弘生山線 福岡町1丁目～今里町1丁目
- 27 市道福岡伏石線 松島町2丁目～松島町
- 28 市道花ノ宮木太線 室町～松島町
- 29 市道福岡線 福岡町3丁目～木太町2区
- 30 県道高松長尾大内線 松島町～木太町2区、上福岡町～松島町2丁目

外側部のカラー化
●市道など

※整備手法や対象区間は現段階の安全空間確保部会の案であり、詳細検討等において変更もありうる。



②車道空間における自転車道の整備

自転車道の整備(構造分離)

◆概要

- ・車道車線数を削減(4車線→2車線)し、整備
- ・防護柵、縁石等による分離
- ・両側設置

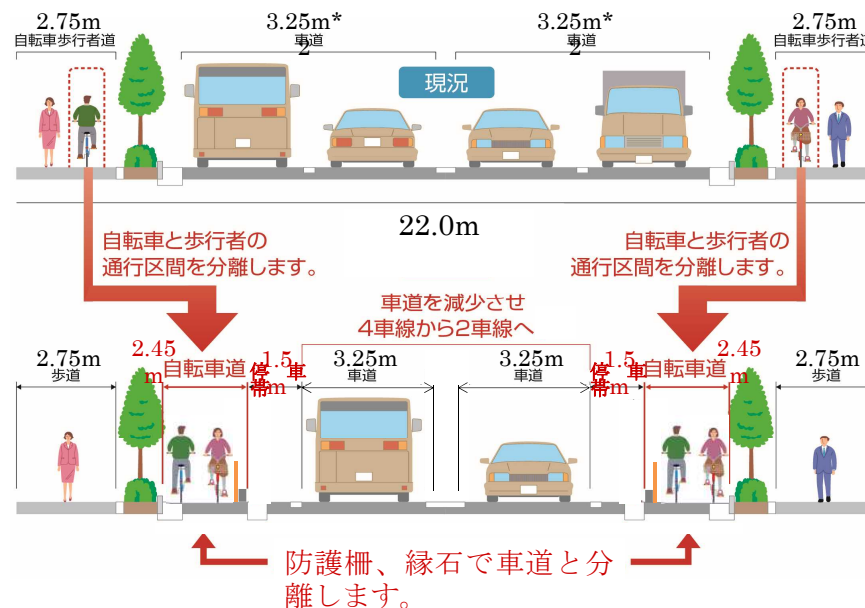
◆代表路線

市道 五番町西宝線

◆配慮事項

- ・車道車線減に伴う渋滞発生、迂回路の設定
- ・交差点部の自転車横断帯の走行方法
- ・細街路からの自動車との接触の危険性

整備状況





②車道空間における自転車道の整備

外側部のカラー化

◆概要

視覚的な分離(カラー化)を図ることで自転車利用者やドライバーの認識向上

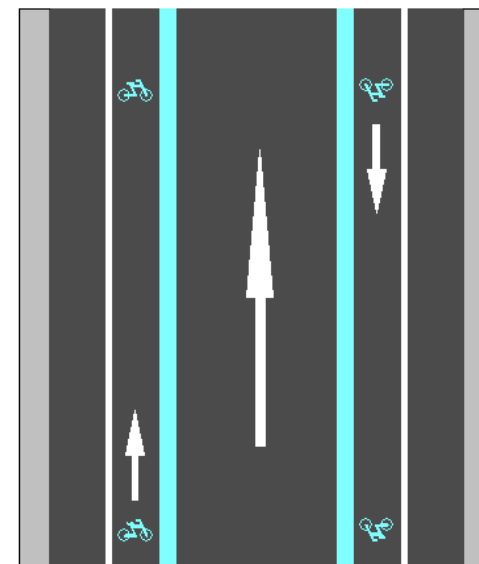
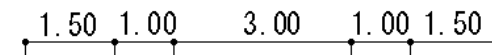
◆代表路線

市道 塩屋町錦町線など

◆配慮事項

路上駐輪車両が多い

整備状況





③歩行者空間における自転車歩行者分離施設の整備

自転車歩行者分離施設の整備(構造分離)

◆概要

- ・十分な幅員の歩道に自転車通行帯を整備
- ・通行分離柵、誘導標による分離

◆代表路線

- ・国道11号・30号(中央通り)

◆配慮事項

- ・沿道施設からの出入り車両との交錯
- ・自転車マナーの悪い利用者が目立つ
- ・高齢者や車椅子等の交通弱者への配慮

整備状況





④民間による公共的駐輪場整備への支援

◆経緯

- ・商店街で、放置自転車による通行障害、景観の悪化
- ・民間主体の駐輪場整備を積極的に進める必要

空き店舗等を活用した民間の取組へ支援



◆事業概要

- ・施設整備費や借地代に対して2/3を補助
- ・実施済は7箇所(収容能力 計333台)
- ・年間補助額:約760万円

実施例





⑤ 丸亀町商店街における自転車乗入れ禁止

- ◆ 商店街で、歩行者と自転車の接触事故が多発
- ◆ 商店街における自転車走行は、長年の課題



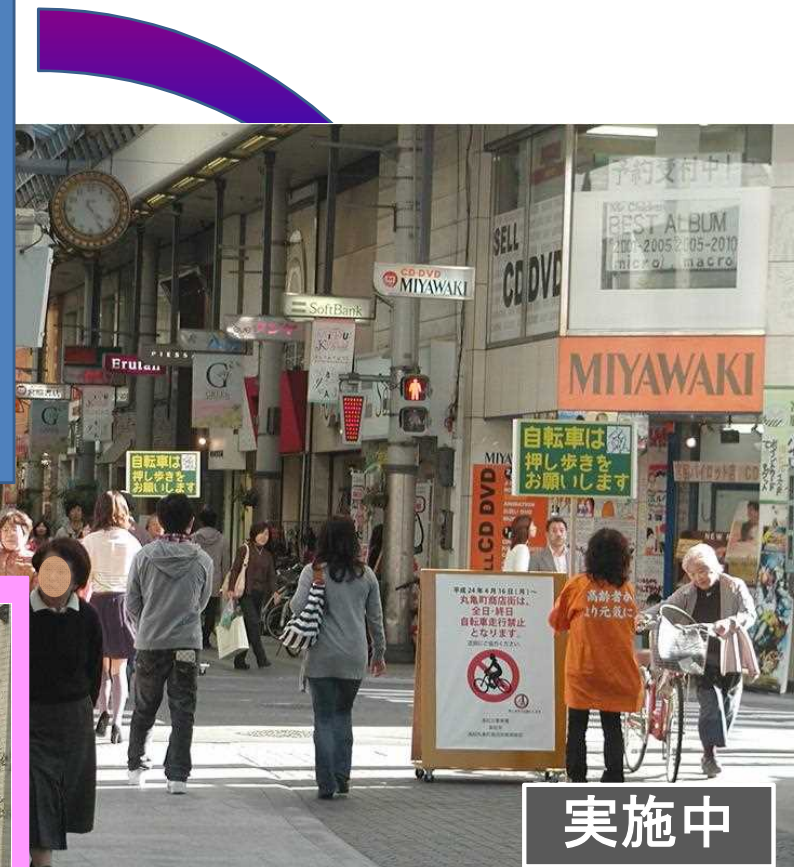
- ◆ 社会実験の実施
(H24.4～6の2か月間)
- ・ 期間中、全日・終日規制
(手押し可)



- ◆ H24.7～
公安委員会による
正式規制へ



実施前



実施中



実施後



⑥「チャリンこ救急ステーション」の設置

◆「チャリンこ救急ステーション」の設置（平成24年度実施）

- ・市内のコンビニエンスストア（約120店）やコミュニティセンター（約50箇所）等に協力いただき「空気入れ」を配備

⇒ 空気を気軽に入れることができ、自転車の利便性向上





⑦カーフリーデー高松

◆日本では13都市で開催

都市の中心部でマイカーを使わない日を設け、交通や環境、都市生活と車の使い方について、市民の皆様に考えていただく機会とする社会啓発活動

過度に自動車に依存しない、人と環境に優しい公共交通と自転車を利用したまちづくりを目指し、平成20年から「カーフリーデー高松」を開催

◆平成27年9月20日(日) 第8回カーフリーデー高松を開催

⇒レンタサイクルで来場された方には100円キャッシュバック





ご清聴ありがとうございました。